

---

# マスター聖句の役割を明確にする

「マスター聖句」とは、聖句を探し出し、その意味を理解し、生活の中で応用することを意味しています。マスター聖句は100あります。(各聖典コースに25のマスター聖句がある。)教師であるあなたは、生徒がマスター聖句を習得できるように助けなければなりません。そのためには、マスター聖句をクラスで復習し、生徒に自分でも学び、また暗記するよう励ます必要があります。

この目的を達成できるかどうかは、教師自身の取り組みに大きく左右されます。例えば、教師は聖句を習得し、クラスで時間を割いて生徒がそれらをよく味わえるよう努め、生活の様々な場面や問題に応用することができます。また、マスター聖句を学ぶよう期待していることを伝えることは、生徒にやる気を起こさせる鍵となります。

しかし、マスター聖句の習得は、順を追って進める毎日の聖文学習を補うものであり、それにとって代わるものではないことを覚えておく必要があります。マスター聖句の習得に費やす時間を慎重に考え、通常の教科課程を常に優先します。家庭学習セミナーの教師は、毎週のクラスが週に一度の聖句探しに終始することのないように、特に注意しなくてはなりません。以下はマスター聖句を習得する際のアイデアです。

- 聖文を学んでいく中でマスター聖句が出てきたときに、効果的に紹介する時間を取る。

- 週1日、ある程度の時間を取ってマスター聖句を習得する。
- 毎日少しの時間をマスター聖句の復習のために使う。
- 予定の時間より早くレッスンが終わったときは、残りの時間をマスター聖句のために使う。
- 年度の初めに、マスター聖句に関連づけた開会行事を計画するよう生徒に割り当てる。
- マスター聖句からの教えに基づいたテーマを掲示板に掲げる。

ハワード・W・ハンター大管長は十二使徒定員会会長時代に次のように述べています。「わたしたちは、聖句の場所を見つけて示せるほどには聖文をよく理解していないために、自分が必要な助けを見いだすことができないと恥じ入ったり、恐れや気後れを抱いたりしたまま、クラスを出て行く生徒が一人もいないようにと望んでいます。」(*Eternal Investments* [ハワード・W・ハンター会長との夕べ, 1989年2月10日], 2)

## 生徒がマスター聖句を探せるよう助けるためのアイデア

- 聖書、モルモン書、高価な真珠の目次がどこにあるか生徒に示す。目次を使ってマスター聖句の幾つかを見つける。

- 
- マスター聖句の場所と、それを覚えるための鍵となる語句を生徒が学べるよう助ける。

マスター聖句を探す練習をする。例えば、マスター聖句の一部を読み上げ、生徒はその節を見つけるか、どこにあるかを言う。実物や絵を見せ、聖句に関する質問をしてもよい。

### 生徒がマスター聖句を理解するためのアイデア

- 生徒が難解な語句を理解できるように、生徒とともにマスター聖句を読む(生徒用学習ガイド、「読んでいるときに」の項参照)。
- 教師用手引きの教え方の提案と生徒用学習ガイドの活動を使って、マスター聖句で教えられている教義を理解できるよう助ける。
- 脚注や聖句ガイドなど聖文研究のための補助資料の使い方や、マスター聖句に関連のある教義や原則を説明するほかの聖句の探し方を生徒に教える。相互参照箇所を各自の聖典の余白に記入するとよい(生徒用学習ガイド「末日聖徒版の聖典の中にある資料」の項にある「相互参照」を参照)。
- 聖典にしるしをつける方法をすべて教える(生徒用学習ガイド、「読んでいるときに」の項参照)。
- 生徒の理解を助けるために、聖句について質問する。例えば、その聖句でだれが語っているのか、だれに語っているのか、どうしているのか、この聖句を記

した人はどのように感じただろうか、などの質問がある。

- 聖句の歴史的背景(人々、場所または時期)について話し合う。マスター聖句の前後の節や章ではどういうことが起きていたかを調べ、それらの節が状況説明にどう役立っているかを知る。

- 生徒に自分の言葉で聖句を書かせる。また、聖句に関する質問を書いたり、絵を描いたりさせる。
- マスター聖句を暗記し、何も見ないで聖句を書いたり、言ったりするよう奨励する。

### マスター聖句を生徒が応用するためのアイデア

- マスター聖句の意味を考え、書き出させる。その聖句が生徒の疑問や問題への答えを見いだすのにどのように役立つか話し合う。(生徒用ガイド、「読んだ後で」の項参照)
- 因果関係を探す。
- これまでに学んだマスター聖句を使って、生徒がクラスまたは教会で短い話をする。
- ほかの人々に福音を教えるために、マスター聖句をどのように使ったらいいか、生徒が発表する。
- 教会や総大会でマスター聖句がどんなふうに使われていたか生徒が発表する。

- 
- マスター聖句を家庭の夕べで教えるように勧める。
  - 自分にとって特別な意味のあるマスター聖句を使って、家庭やクラス用にポスターを作る。
  - クラスを二つのグループに分ける。グループごとに、マスター聖句を使って答えられる現実的な問題や質問を書く。書いた紙をグループ同士で交換する。そして、相手のグループの問題や質問に答えられるようなマスター聖句を探す。
  - 以前の年度に学んだ聖句を復習することにより、4年目の生徒が卒業時に100の聖句すべてに精通しているようにする。

## まとめ

「聖典の勉強ほど霊的な成長の糧となるものはあまりありません。救い主は『聖文を持っている者は聖文を調べて、……確かめなさい』と言われました(3ニーファイ10:14)。聖典をよく調べる人は、すばらしい霊的な真理を語り、キリストを偉大な模範として信頼することができるようになる、と主は約束しておられます。主と聖約を交わし、儀式を受け、奉仕したいという望みが強められるのです。(A・セオドア・タトル「聖約、儀式、奉仕」『聖徒の道』1984年7月号、42参照)